

学校運営協議会だより

令和8年度 第1号

学校運営方針 ひがたまマインド よくきく・ごきげん・いいチーム（同僚性）

「安心・安全」を基盤とし、「自分らしさ」を大切にして、「豊かな関係性」をつむぐ東玉川小学校

第1回 学校運営協議会報告

【日時】令和8年4月30日（木）11:00～12:00

【場所】ランチルームとZOOM オンライン会議併用

【出席者】学校運営協議会：小松・大月・川原・前澤・豊福・原・米田・依田校長
事務局：鈴木副校長・辻田

学校運営協議会とPTA活動

- 運営方針と協議会の体制:
 - 新体制での運営となり、参加者全員で自己紹介を行った。
 - 旧PTAの活動を移行チームが引き継ぎ、元PTA役員も引き続き参加・協力する。
 - 民生児童委員・地域住民・有識者も参加し、地域とのつなぎ役を担う。
- 実行チームの活動活性化:
 - 実行チームの活動の楽しさや子どものためになる点をアピールしていく。
 - 現在の実行チームの人員が不足しているチームがあり、特に地域のイベントへの協力体制の強化が必要。
 - 実行チーム活動は強制ではなく、楽しく参加できることが重要であり、既存の枠にとらわれない企画も歓迎する。
- ひがたまなかま企画会議（仮）の設立提案:
 - 学校運営協議会とは別に、各チームリーダーや管理職などが定期的集まり、活動の方向性を話し合う「ひがたまなかま企画会議」の設置が提案された。
- 実行チーム活動メンバーの応募状況:
 - PTA活動時に比べ、活動メンバーが半減している。
 - 図書ボランティアなど子どもの様子を直接見られる活動は人気だが、安全見守りや地域イベントへの参加者が少ない。

- 中古衣料の古布回収ボランティアは、例年の10~15名に対し、現状で6月が3名、12月が2名と大幅に減少している。

教職員体制

- **新年度体制:** 今年度は転入教職員が半数近くを占めるフレッシュな体制となった。教職員の紹介は4月の学校だより等で通知済み。
- **指導体制:**
 - 高学年で教科担任制を導入し、専門性を活かした指導を行う。
 - 理科の専科教員を本年度より配置。
 - 今後、3・4年生でも教科担任制を徐々に進めていく計画。
- **組織再編:** 教員組織の部会を増やし、生活指導部会から「教育相談部会」を独立させ、特別支援体制を強化した。

学校の運営方針と現状報告

- 「安心」「自分らしさ」「人とのつながり」の3段階を重視。児童が安心できる環境で豊かな人間関係を築くことに重点を置く。
- 児童一人ひとりの個性を「らしさ」として受け止め、共に学び成長する共同体感覚を育む。

4月の学校の様子と行事

- **児童数:** 全校児童数56名（男子31名、女子25名）で、安定して運営されている。
- **行事:** 「1年生を迎える会」や「学校探検」では、上級生がリーダーシップを発揮し、温かい雰囲気醸成された。
- **運動会:** 昨年から「体育学習発表会」に名称を変更し、日頃の学習内容に沿った形で実施している。

学校運営に関する変更点と課題

事務・連絡体制

- **諸費徴収:** 教材費の徴収方法を「学校モール」システムに変更。年間概算額を学期ごとに分割徴収する。支払いはどの金融機関からでも可能になった。
- **通知表と個人面談:** 通知表の配布を年2回（10月、3月）に減らし、代わりに保護者面談を年2回（7月、12月）実施。保護者との対話を重視する。
- **情報提供:** 学校だより等の紙での配布は原則廃止したが、紙配布希望者もいるため、職員室前に30部ほど用意。5月からは増刷を検討する。
- **留守番電話:** 対応時間を午後5時半までに短縮。次年度以降も段階的に早める予定。始業は8時過ぎのため、それ以前は繋がらない設定にしている。
- **情報伝達の課題:** すぐ見るが未読であるままの家庭が一定数おり、重要な情報が確実に伝わっていない可能性が指摘された。

施設・設備

- **給食室改築工事:** 2学期から工事のため弁当対応となる。業者は「玉子屋」にほぼ内定。価格は通常盛590円、小盛570円。注文にはLINE登録が必須で、アレルギー対応は不可。献立表が業

者のホームページにて2週間ごとに更新される。区から全家庭に協力金が支給される予定。詳細は6月頃に保護者へ通知する。

- **エアコン設置:** 普通教室のエアコン工事が進行中で、ゴールデンウィーク後から稼働予定。体育館にも大型エアコンが1台設置された。

生活指導と家庭へのお願い

- **生活時程:** 清掃時間が5分短縮。特別時程では昼休みがなくなり、給食後すぐに5時間目の授業が始まる。
- **学校外でのトラブル:** SNS、公園での遊び、金銭問題など学校外でのトラブル相談が増加。学校は注意・指導は行うが、根本的な解決は家庭での対応を求めている。特にタイヤ公園や東玉川の神社裏の公園でのトラブルが多く、地域から学校へ苦情の電話が頻繁にかかっている。外での児童の言葉遣いの悪化も懸念される。

今後の予定と計画

- **ワークショップ:** 5月9日(土)に東京科学大学の栗山先生を講師に招き、2~6年生対象のワークショップを開催。
- **75周年記念集会:** 次回協議会と同日の6月19日(金)に実施。
- **次回学校運営協議会:** 6月19日(金)に開催予定。